



▼ Contents

- 1 部活動 3 年間で振りかって②
- 2 球は靈なり

1 部活動 3 年間で振りかって②

1 回戦から応援ありがとうございました。

私は本当に大間高校の野球部、部長を務めてよかったと思っています。部長を始めた当初はなかなかうまくいかず、辞めたいと毎日のように思いました。

野球部のメンバーは本当に熱く、自信をもってプレーし、この仲間想いのメンバーでできたことを誇りに思います。最後の最後に甲子園常連校の光星高校と試合し、力に差はある中で自分たちの野球をやることでよかったです。

これからは 1、2 年生での活動になります。頼りになる 2 年生を中心に最後の最後まで全力プレーで戦ってください。本当にありがとうございました！

硬式野球部主将 根戸内 一心



2 球は靈なり



愛媛県松山市坊ちゃんスタジアムには、「球は靈なり」と書かれたモニュメントがあります。これは、名門松山商業出身で戦前日本統治下であった台湾の嘉義農林学校（嘉農）で監督を務めた近藤兵太郎の言葉です。

近藤が率いた嘉義農林学校は、異なる民族からなる混成チームではありませんでしたが、1931 年夏の甲子園大会に台湾代表として初出場ながら準優勝の成績を収め、映画『KANO 1931 海の向こうの甲子園』（2014 台湾）にも描かれました。

近藤兵太郎の野球指導

近藤の野球指導はスパルタ式で大変厳しいものでした。しかし近藤は、人種ではなく**身体能力の特徴と実力で選手を判断**する監督でした。

「**蕃人（台湾原住民）は足が速い。漢人（中国系住民）は打撃が強い。日本人は守備に長けている。こんな理想的なチームはどこにもない。**」

欠点のある選手に対しては、徹底的にその原因を究明し、**理にかなった方法**で正しました。雨の日は教室で規則や作戦、技術向上に欠かせない講義をし、**精神訓話**も併せて指導しました。



2



理屈ばかり講じても人の心は動きません。「試合でただ勝てば良い」「強いだけのチームを作れば良い」「楽しければ良い」という考えは持っていませんでした。

「**球は霊なり、霊正しからば球また正し、霊正しからざれば球また正し**かず。」打たれるのを恐れるんじゃない。**最初から恐れていたら、球がそれてしまう。負けることを考えるんじゃない。勝つ方法だけを考えるんだ。**

嘉農の野球はどんな球も諦めず全力で取りに行く、そのための練習を積み重ねてきました。嘉農の試合を観戦した作家の菊池寛は観戦記に

「僕は、嘉義農林、神奈川商工と戦ったときから、嘉義びいきになった。日本人、本島人（台湾の漢族）、高砂族（先住民族）という人種が、**同じ目的のために共同し努力**していることが、何となく涙ぐましい感じを起こしている。」と書いています。



3

「パイヤの実」映画『KANO 1931 海の向こうの甲子園』より

野球部、部長で農業教師の濱田次箕先生が、嘉農野球部に**大きなパイヤの実**を差し入れてくれました。他の生徒は喜びますが、キャプテンの呉明捷だけは複雑な顔で濱田先生に、「一度も勝ったことがない自分たちにどうして…」と質問をしました。すると、濱田先生は彼らをパイヤの木に案内し、こう言いました。

「パイヤはな、根っこに**釘**を打たれて、**自分はもうだめだ。長いことはない**と思い、**必死で、必死で必死で大きく美しい実を实らせた**んだ。そうすれば次の代を残せるだろ。**危機感**が懸命に生きようと花を咲かせ**実を实らせる**のさ」

濱田先生はさらに別のパイヤの木に案内しました。

「この木だけは**釘**を打た**なかった**んだ。最初は小さな実しか付けなかったが、1年もしないうちにこんなに**大きなパイヤの実を实らせた**んだ。左右のパイヤの木が、**大きな実を付けてこそパイヤの木なんだと思わせた**からだ」

全校の皆さんは、今年度、野球応援を通じて、**選手（クラスメート）に良い影響**を与えてくれました。選手の皆さんは**プレーを通じて観客に良い影響**を与えてくれました。**自分の行動と努力が誰かに影響を与えることになります**。来年も全校野球応援ができると良いですね。



自分も大きな実を付けたい！



² 近藤兵太郎さんをご存知ですか?? | 松山市体育協会事務局ブログ (fc2.com)

³ 甲子園出場「KANO」を誇りに 野球のふるさと嘉義：朝日新聞 GLOBE+ (asahi.com)